

1. 事業説明シート

事業名	街路事業 [街路事業 (国補)]	事業箇所	甲斐市中下条	地区名	(都) 田富町敷島線 (中下条Ⅱ期工区)	事業主体	山梨県												
<b>(1) 事業の概要</b>				<b>(3) 中・長期計画等の位置付け</b>															
<b>①課題・背景</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・(都)田富町敷島線は、甲斐市を南北に縦貫する延長約8.9kmの道路で、甲府都市圏域を中心とした幹線道路ネットワークの一部を構成するとともに、地域住民の生活道路として重要な役割を担っている。</li> <li>・当該路線は慢性化している渋滞の解消および新山梨環状道路へのアクセス道路としての利便性向上が期待される路線として随時整備が進められてきており、本区間のみが未整備となっている。</li> <li>・また、本区間は、小中学校の通学路となっており、歩行者の安全確保のためにも早急な整備が望まれている。</li> </ul> <b>②整備目標・効果</b> <p>□主要目標 ○市街地内の交通の円滑化                  自動車交通量 11,681台/12h (H27センサス) &gt;7,838台/12h (平日) 以上※                  混雑度 1.72 (H27センサス) &gt;1.25以上※ ※評価基準値</p> <p>□副次目標 ○歩行者等の安全性の確保                  歩行者・自転車交通量 243人台/12h (H27センサス) &gt;93人台/12h以上※                  自動車交通量 11,681台/12h (H27センサス) &gt;3,428台/12h (平日) 以上※                  小中学校からの距離 0.3km&lt;概ね1km以内※                  現況の歩道幅員 1.1m (区間平均) &lt;1.4m未済※ ※評価基準値</p> <p>□副次効果 ○良好な景観の創出 (電線類の地中化)                  ○バリアフリー化の促進 (視覚障害者の誘導表示等の設置)                  ○ライフラインの強化 (電線共同溝による統合整備)</p> <b>③目標達成の方法</b> <p>甲斐市中下条におけるL=560mについて現道拡幅 車線数2→2 無電柱化1,750m (両側)                  車道幅員2.7m→3.0m 路肩幅員0.5m→1.5m 歩道幅員1.1m→3.5m</p>				<b>(4) 事業位置図等</b>															
<b>(2) 整備内容</b>																			
<b>①整備内容</b> 道路改良 L=560m W=6.0(16.0)m 電線共同溝 L=875m (両側L=1,750m) <b>②着手年度</b> 令和4年度 <b>③完成見込年度</b> 令和13年度 <b>④総事業費</b> 約2,600百万円 (国費1,430百万円(5.5/10)県費1,170百万円(4.5/10)) <b>⑤年度別の整備内容 (事業費)</b> <table border="1"> <tr> <td>令和4年度～令和5年度</td> <td>詳細設計・用地測量・用地調査</td> <td>60</td> <td>百万円</td> </tr> <tr> <td>令和6年度～令和10年度</td> <td>用地取得・物件補償</td> <td>1,040</td> <td>百万円</td> </tr> <tr> <td>令和7年度～令和13年度</td> <td>道路改良・電線共同溝</td> <td>1,500</td> <td>百万円</td> </tr> </table> <p>※記載内容は見込みであり、確定したものではない。</p>				令和4年度～令和5年度	詳細設計・用地測量・用地調査	60	百万円	令和6年度～令和10年度	用地取得・物件補償	1,040	百万円	令和7年度～令和13年度	道路改良・電線共同溝	1,500	百万円				
令和4年度～令和5年度	詳細設計・用地測量・用地調査	60	百万円																
令和6年度～令和10年度	用地取得・物件補償	1,040	百万円																
令和7年度～令和13年度	道路改良・電線共同溝	1,500	百万円																
<b>⑥既整備内容・期間・事業費</b>																			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・富竹工区 L=1,390m H23～R8 約55億円</li> <li>・仲新居工区 L=445m H25～R7 約17億円</li> </ul>																			

## 2. 評価シート

<p>(1) 公共関与の妥当性 (行政が行うべき事業か) &lt; <input checked="" type="radio"/> 妥当 &amp;input type="radio"/&gt; 妥当でない &gt;</p> <p>(理由)</p> <p>甲府都市計画区域の重要な幹線道路であるとともに、地域の生活道路としての役割を担う路線であり、社会的受益は大きく極めて公共性が高い。</p>	<p>(5) 整備手法の有効性 &lt; <input checked="" type="radio"/> 妥当 &amp;input type="radio"/&gt; 妥当でない &gt;</p> <p>(理由)</p> <p>現道敷地を有効活用することで周辺への影響をなるべく小さくするとともに、経済性に優れた最も妥当な計画とした。</p>																																													
<p>(2) 事業執行主体の妥当性 (県が行うべき事業か) &lt; <input checked="" type="radio"/> 妥当 &amp;input type="radio"/&gt; 妥当でない &gt;</p> <p>(理由)</p> <p>当該路線は、県道であるため道路法第15条、都市計画法第59条第2項の規定より、県が施工することは妥当である。</p>	<p>□他の整備手法の有無 &lt; 有 <input checked="" type="radio"/> 無 &gt;</p> <p>(状況)</p> <p>当該区間は現道拡幅として、都市計画決定されている。また、新たなバイパスは人家等の密集地域であり、家屋や工作物の移転補償に更なる費用が必要となるため、経済性にも優れた計画である。</p>																																													
<p>(3) 経済効率性 &lt; <input checked="" type="radio"/> 妥当 &amp;input type="radio"/&gt; 妥当でない &gt;</p> <p>(理由)</p> <table border="1" data-bbox="174 518 1169 778"> <tr> <td>総事業費</td> <td>2,600</td> <td>百万円</td> <td>工期</td> <td>R4~R13</td> <td>基準年</td> <td>R3</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">経済効率性</td> <td>費用</td> <td>1,348</td> <td>百万円</td> <td>便益</td> <td>1,622</td> <td>百万円</td> </tr> <tr> <td>建設費</td> <td>1,318</td> <td>百万円</td> <td>走行時間短縮</td> <td>1,515</td> <td>百万円</td> </tr> <tr> <td>維持管理費</td> <td>30</td> <td>百万円</td> <td>走行経費減少</td> <td>61</td> <td>百万円</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>交通事故減少</td> <td>0</td> <td>百万円</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>その他※</td> <td>42</td> <td>百万円</td> </tr> <tr> <td colspan="2">B/C</td> <td colspan="5">1.2</td> </tr> </table> <p>※その他は、CO2排出量削減便益、都市空間快適性向上便益</p> <p>費用便益比 (B/C) は、国の採択基準1.0を超えている。 電線共同溝は便益が算出できないため、経済効率性の算定対象としていない。</p>	総事業費	2,600	百万円	工期	R4~R13	基準年	R3	経済効率性	費用	1,348	百万円	便益	1,622	百万円	建設費	1,318	百万円	走行時間短縮	1,515	百万円	維持管理費	30	百万円	走行経費減少	61	百万円				交通事故減少	0	百万円				その他※	42	百万円	B/C		1.2					<p>(6) 環境負荷等への配慮 &lt; <input checked="" type="radio"/> 妥当 &amp;input type="radio"/&gt; 妥当でない &gt;</p> <p>(理由)</p> <p>当該工区は市街化された地域内であり、自然環境への影響は少ない。</p>
総事業費	2,600	百万円	工期	R4~R13	基準年	R3																																								
経済効率性	費用	1,348	百万円	便益	1,622	百万円																																								
	建設費	1,318	百万円	走行時間短縮	1,515	百万円																																								
	維持管理費	30	百万円	走行経費減少	61	百万円																																								
				交通事故減少	0	百万円																																								
				その他※	42	百万円																																								
B/C		1.2																																												
<p>(4) 事業実施・規模の妥当性 &lt; <input checked="" type="radio"/> 妥当 &amp;input type="radio"/&gt; 妥当でない &gt;</p> <p>(理由)</p> <p>本路線は、都市計画道路として昭和43年に都市計画決定され、整備済み区間に挟まれた区間の整備であることから妥当である。</p> <p>□同等施設等 (計画を含む) の有無 &lt; 有 <input checked="" type="radio"/> 無 &gt;</p> <p>(状況)</p> <p>なし</p>	<p>(7) 事業計画の熟度 &lt; <input checked="" type="radio"/> 妥当 &amp;input type="radio"/&gt; 妥当でない &gt;</p> <p>(理由)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・都市計画決定済み (S43決定) 路線であり、地域の本計画への認知度は高い。</li> <li>・整備済み箇所には挟まれた工区であり、地域の整備に対する期待は高い。</li> </ul> <p>《総合評価》 &lt; <input checked="" type="radio"/> 妥当 &amp;input type="radio"/&gt; 妥当でない &gt;</p>																																													
<p>□必要整備内容とその根拠</p> <p>(状況)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・区 域：改良済み区間に挟まれた必要最低限の区間とした。</li> <li>・道路構造：幅員等規格は山梨県県道の構造基準を定める条例による。</li> </ul>	<p>7項目全て妥当と評価されることから、実施が妥当と判断する。</p>																																													

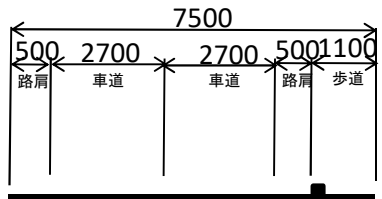


### 3. 添付資料シート (1)

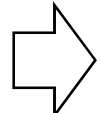


— 今回評価区間  
— 道路改良区間

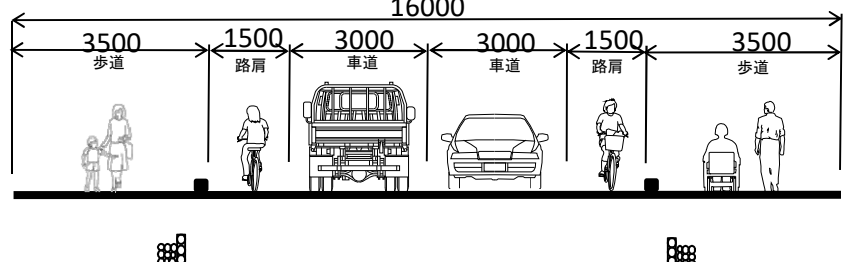
整備前



【標準横断図】



整備後



### 3. 添付資料シート (2)

① 混雑時の様子



③ 見通しが悪く危険な県道への流入状況



② 路肩を通行する歩行者



④ 歩道が途切れている箇所の状況

